

BMW MINI R56型 クーパー・クーパーS Ignite VSD *alpha 16v* & Ignite VSD *alpha CI* 取り付け説明書

構成部品 VH037ハーネス 1本、バッテリー電源ハーネス(1m) 1本、オスギボシ端子 1個、オスギボシキャップ 1個
 タッピングビス 1本、メスギボシ端子 1個、メスギボシキャップ 1個、100mmタイラップ 10本、VH037取り付け説明書 1部
 使用工具 コンビネーションレンチ、ラatchetレンチ、ドライバー、ウエス、ニッパ、パーツクリーナー、はんだ、はんだこて

このハーネスを使用して、旧ギボシ端子タイプの Ignite VSD alpha 16Vをお取付けの場合、品番 C1004が別途必要となります。

(1)から(12)までは Ignite VSD alpha 16V の取り付け説明となります。

(13)から(22)までは Ignite VSD alpha CI の取り付け説明となります。

1. バッテリーカバーをはずし、マイナス端子を外してください。



注意:
 このハーネスはコネクターハーネスの切断加工が一部必要となりますので、お取付は販売店にお任せ下さいませようお願い致します。

R56ミニクーパーSをモデルとしていますのでクーパーへの取り付けは本体の取り付け場所をバッテリー上部などに変更してください。

2. 本体を固定する位置を決め、Ignite VSD alpha 16v 本体にステーを貼り付けてください。



本体脱落防止の為、次の2点は必ず守ってください。

(2-1) Ignite VSD alpha 16v 本体やステーから油分・水分を取り除く為、パーツクリーナーやアルコールで脱脂を行なってください。

(2-2) Ignite VSD alpha 16v 本体やステーが冷えている場合にはドライヤーなどで暖めてから両面テープを貼ってください。

本体をエンジンに固定することは振動などで内部回路を破壊する恐れがありますので必ずボディ側に貼り付けてください。

3. Ignite VSD alpha 16v 本体に付属のL字ステーを取り付け、コンピュータ後ろ側のバルクヘッドに付属のタッピングビスで本体を固定してください。



取り付け位置は装着例です。

エンジンルームの可動部分やその他に接触していないことを確認してください。

クーパーなど上部位置に取り付けのできない場合の装着例
 ボンネットワイヤー固定位置のボルト穴を利用してヘッドライト上部に取り付けしています。



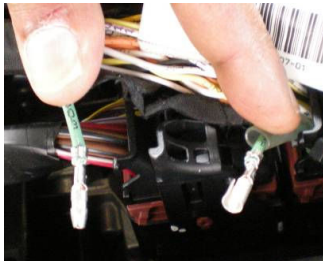
4. コンピュータBOXの蓋を開け、3個あるコネクターの真ん中のコネクターのテープを剥がしてください。



5. 2mm緑色のハーネスを引きだし、加工のしやすい長さでカットしてください。



6. コンピュータ側にメスギボシターミナル、点火コイル側にオスギボシターミナルを圧着し、**はんだ付け**行ってください。 No2

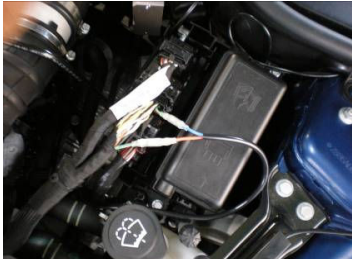


重要注意事項

圧着部分の発熱により、本体故障の原因となるばかりか最悪の場合エンジン始動が出来なくなる場合がありますので、必ず、はんだ付けを行ってください。

はんだ付けを行っていない場合、保障対象外となります。

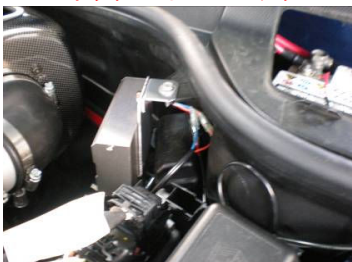
7. VH037ハーネスの青ハーネスをコンピュータ側に、オレンジハーネスを点火コイル側にそれぞれ接続してください。



8. バルクヘッドカバーのボルトナットを外し、赤ハーネスと黒ハーネスをバッテリー搭載位置まで引き込み、バッテリーのターミナル赤ハーネスをプラスターミナルに、黒ハーネスをマイナスターミナルに取り付けてください。



9. 配線図に従い、同色のハーネスをそれぞれ接続してください。
コネクターは ” カチッ ” と音がするまでしっかりと入れてください。



10. 付属のタイラップを使用しハーネスを固定してください。（余ったハーネスはまとめてください。）
注意 配線のショート事故を防止する為、必要に応じハーネスを市販のコルゲートチューブなどで保護してください。

11. イグニッションキーをONにしてIgnite VSD *alpha 16v* 本体のLEDが点灯している事を確認してください。
（この時点ではエンジンは始動しないでください。）

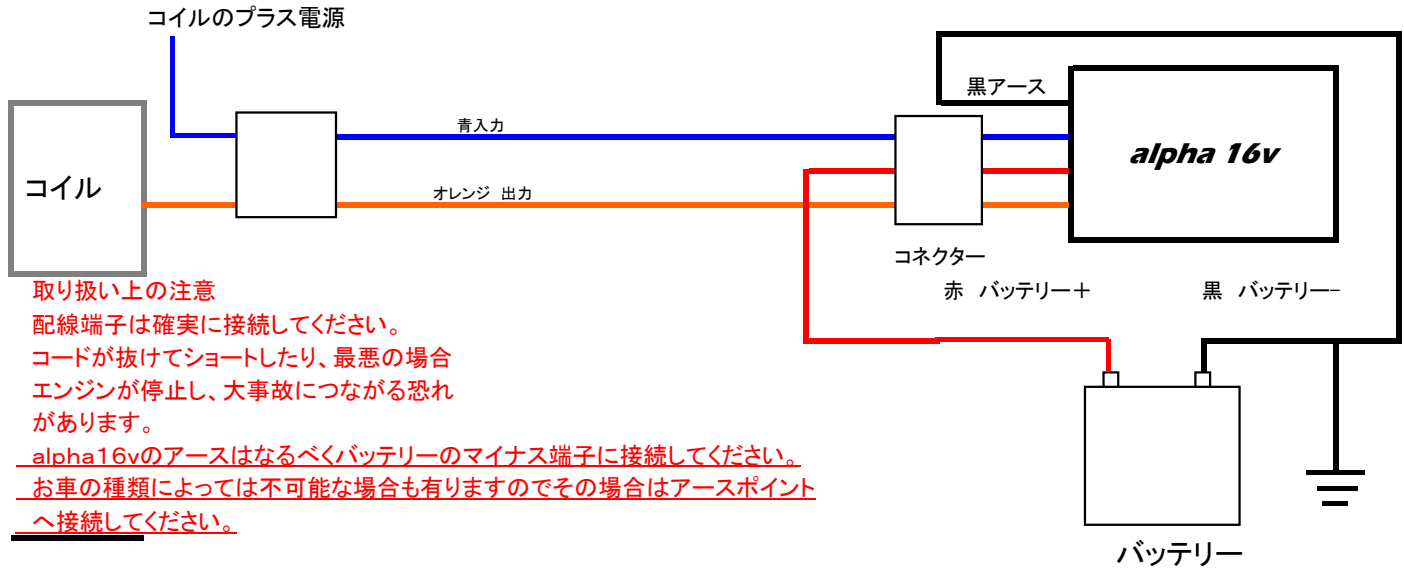
12. エンジンを始動し、異常のない事を確認して完成です。



その他注意事項

エンジン始動時などバッテリー電圧が一時的に低下した場合やバッテリーが弱っている場合には本体16V回路に過電流が流れ、一時的にLEDランプが消灯する場合がありますが本体の異常ではありません。この場合にはセルモーターや本体保護の為、バッテリーの交換をしてください。

なお、LEDが消灯したままの場合には、本体の異常が考えられますので、お買い上げいただきました販売店様にご相談ください。



取り扱い上の注意

配線端子は確実に接続してください。
コードが抜けてショートしたり、最悪の場合
エンジンが停止し、大事故につながる恐れ
があります。

alpha16vのアースはなるべくバッテリーのマイナス端子に接続してください。
お車の種類によっては不可能な場合も有りますのでその場合はアースポイント
へ接続してください。

重要事項

本体内部に水分の混入の形跡がある場合には、保障対象外となりますのでお取付位置には十分ご注意くださいようお願いいたします。

Ignite VSD alpha CI 取り付け説明書

13) バッテリーカバーをはずし、マイナス端子を外してください。



注意:

このハーネスはコネクターハーネスの切断加工が一部必要となりますので、お取付は販売店にお任せ下さいませようお願い致します。

14) 本体を固定する位置を決め、Ignite VSD alpha CI 本体にステーを貼り付けてください。



本体脱落防止の為、次の2点は必ず守ってください。

- (14-1) Ignite VSD alpha CI 本体やステーから油分・水分を取り除く為、パーツクリーナーやアルコールで脱脂を行なってください。
- (14-2) Ignite VSD alpha CI 本体やステーが冷えている場合にはドライヤーなどで暖めてから両面テープを貼ってください。

本体をエンジンに固定することは振動などで内部回路を破損する恐れがありますので必ずボディ側に取り付けてください。

14) Ignite VSD alpha CI 本体に付属のL字ステーを取り付け、コンピュータ後ろ側のバルクヘッドに付属のタッピングビスで本体を固定してください。



取り付け位置は装着例です。

エンジンルームの可動部分やその他に接触していないことを確認してください。

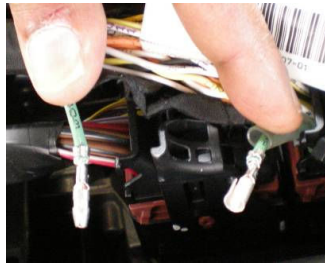
15) コンピュータBOXの蓋を開け、3個あるコネクターの真ん中のコネクターのテープを剥がしてください。



16) 2mm緑色のハーネスを引きだし、加工のしやすい長さでカットしてください。



17) コンピュータ側にメスギボシターミナル、点火コイル側にオスギボシターミナルを圧着し、**はんだ付け**行ってください。



重要注意事項

圧着部分の発熱により、本体故障の原因となるばかりか最悪の場合エンジン始動が出来なくなる場合がありますので、**必ず、はんだ付け**を行ってください。

はんだ付けを行っていない場合、保障対象外となります。

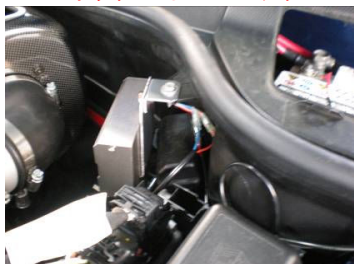
18) VH037ハーネスの青ハーネスをコンピュータ側に、オレンジハーネスを点火コイル側にそれぞれ接続してください。



19) バルクヘッドカバーのボルトナットを外し、赤ハーネスと黒ハーネスをバッテリー搭載位置まで引き込み、バッテリーのターミナル赤ハーネスをプラスターミナルに、黒ハーネスをマイナスターミナルに取り付けてください。



20) 配線図に従い、同色のハーネスをそれぞれ接続してください。
コネクターは **”カチッ”** と音がするまでしっかりと入れてください。

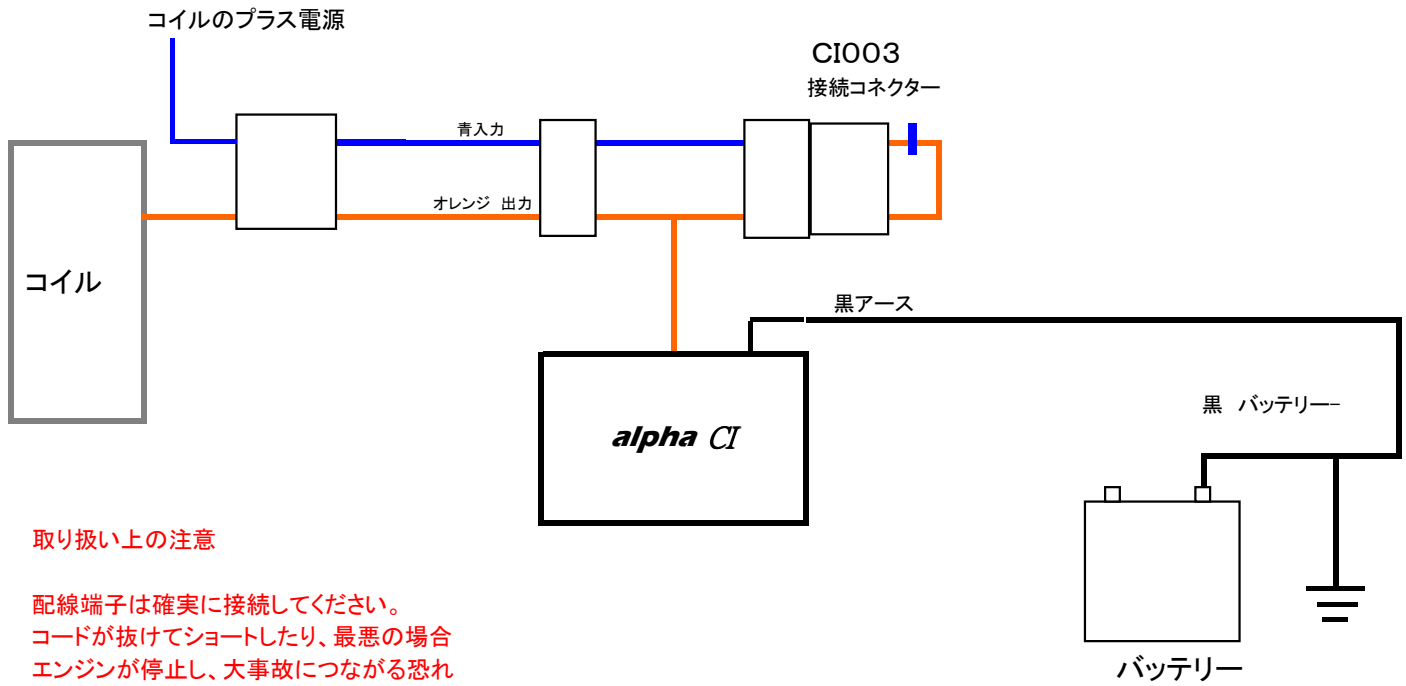


21) 付属のタイラップを使用しハーネスを固定してください。(余ったハーネスはまとめてください。)

注意 配線のショート事故を防止する為、必要に応じハーネスを市販のコルゲートチューブなどで保護してください。

22) エンジンを始動し、異常のない事を確認して完成です。

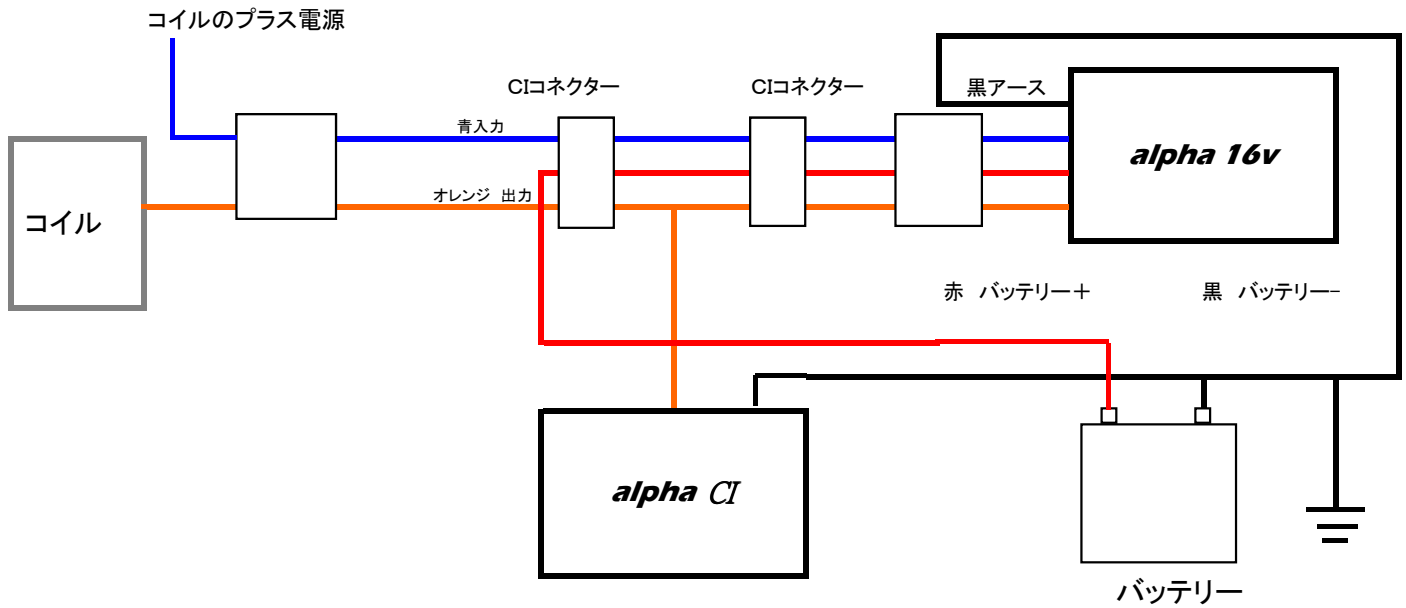
※VSDハーネスの赤色は使用しません。



取り扱い上の注意

配線端子は確実に接続してください。
コードが抜けてショートしたり、最悪の場合
エンジンが停止し、大事故につながる恐れ
があります。

※ Ignite VSD alpha 16VとIgnite VSD alpha CI 品番CI002の同時装着方法



重要事項

本体内部に水分の混入の形跡がある場合には、保障対象外となりますのでお取付位置には十分ご注意くださいようお願いいたします。